

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 北村
山行番. 個人山行	
日時 2023年08月26日(土) 晴れ	
山域 南アルプス・鳳凰山地蔵ヶ岳(2764m)	
コース 御座石鉱泉登山口(5:09)-燕頭山(7:09)-鳳凰小屋(8:18)-地蔵岳(9:09)-オベリスク(9:24)-赤抜沢ノ頭(10:09)-鳳凰小屋(11:30)-燕頭山(12:36)-御座石鉱泉登山口(13:56)-長泉(19:59)	
標高差 上り・下り 御座石鉱泉約1070m~地蔵岳2764m=約1694m+85m(累計)	
難易度 非常に困難 困難 レやや困難 普通 やや易しい 易しい	
青空と白砂とオベリスク	
参加者 北村(単独)	

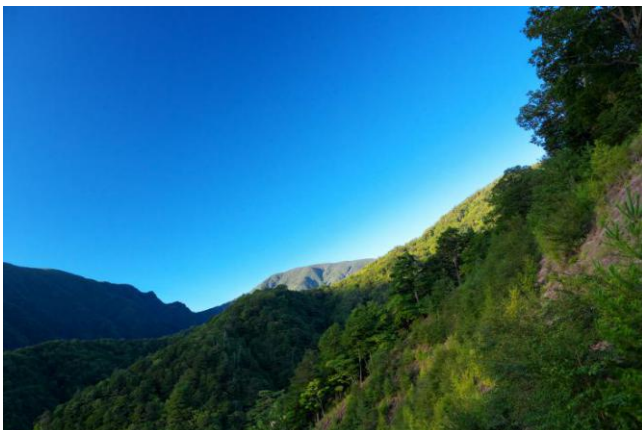
何度か仲間と縦走を計画したが悪天候等で行くことができなかった鳳凰山。天気の良い週末、地蔵岳をトレーニング兼ねた日帰り山行の候補にしていた。

8月26日(土) 地蔵岳山頂 11時の天気予報
晴れ、風速5m、見晴らし△、雲量10%、終日雨マークは無く、午後から高確率となる雷を避ければ絶好の登山日和だった。早めに稜線から樹林帯に下りられるよう早朝スタートで地蔵岳の往復登山を計画した。

登山口がある御座石鉱泉は標高1100メートルの人里離れた森。夜明け前、真っ暗な林道をマイカーで現地に向かった。そろそろ到着という時、道路を立派な熊が横断していった。

野生の熊に会うのは2度目。1度目は、ガサガサと草むらから音がして、いきなり目の前に出てきたので恐怖だったが、今回は車の中なので冷静だった。登山中に会ってしまった時の対応を、頭の中でおさらいしながらAM3時30分に駐車場に到着した。

一時間ほど仮眠をして朝食を摂り、ヘッドライト不要の明るさになったところで登山を開始した。地蔵岳までは、標高差約1650mの長い道のりだが、高原の涼しさ、快晴の空、温かな木漏れ日、野鳥のさえざりで心地良くスタートした。この日は体調が良かったのか、キツイと感じる場所もなく終日元気に歩けた。



雲ひとつない空



木漏れ日

標高 2400mにある鳳凰小屋までは登山者が少なく、出会ったのは途中で先に通してもらった先行3組と下山してきた1組だけだった。

樹林帯は単調な歩きのイメージが強いが、ここは、標高を上げると見晴らしの良い場所が現れて景観が楽しめるコース。標高 1900m地点で広大な雲海が見えてきた。この日は雲で遠くの山が見えなかったが、富士山、北アルプス、八ヶ岳が見えたら最高だったろう。

後から写真を見て気づいたが、雲の中に微かに富士山が写っていた。どこかから種が飛んできたのか？ミヤコワスレの紫色の花が目を惹いた。2100mを過ぎると、本日のゴール地蔵岳が見えてきた。



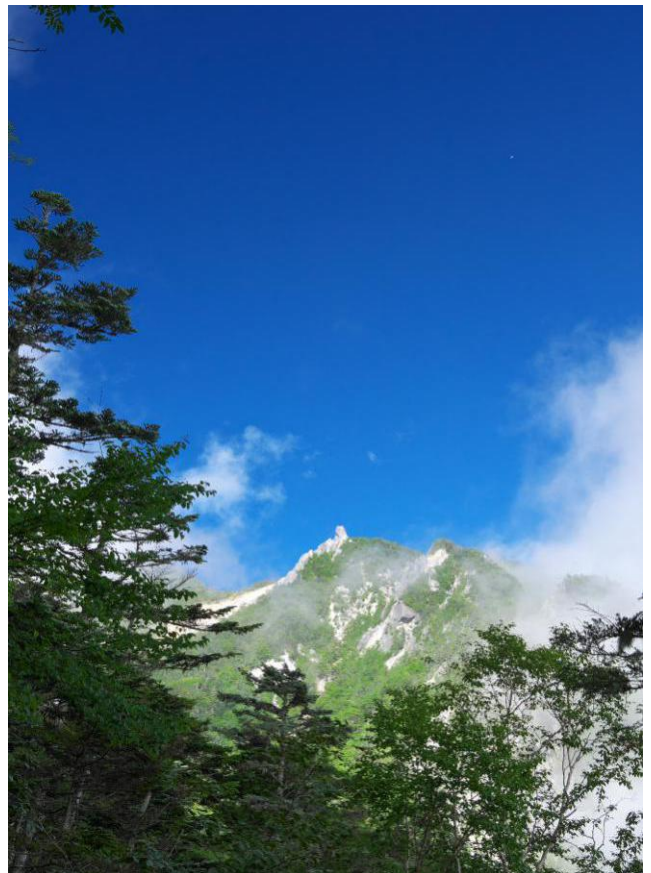
標高 1900m 雲海



ミヤコワスレ



静かな森を快調に進む



標高 2100m 地蔵岳が見えてきた

8時半前に鳳凰小屋に到着した。沢沿いに佇む山小屋は、まだ、たくさん花が咲いていた。ヤナギランは見たかった花、想像した通りの可愛い花だった。

小屋の前は、宿泊者や青木鉱泉ルートで来た人、小屋番さんがいて賑やかだった。少し休憩して花を散策して山頂に向けて出発。数十メートル歩いて振り返ると、小屋番さんが「いってらっしゃ〜い」と笑顔で手を振ってくれた。気持ち良く山頂に向かった。

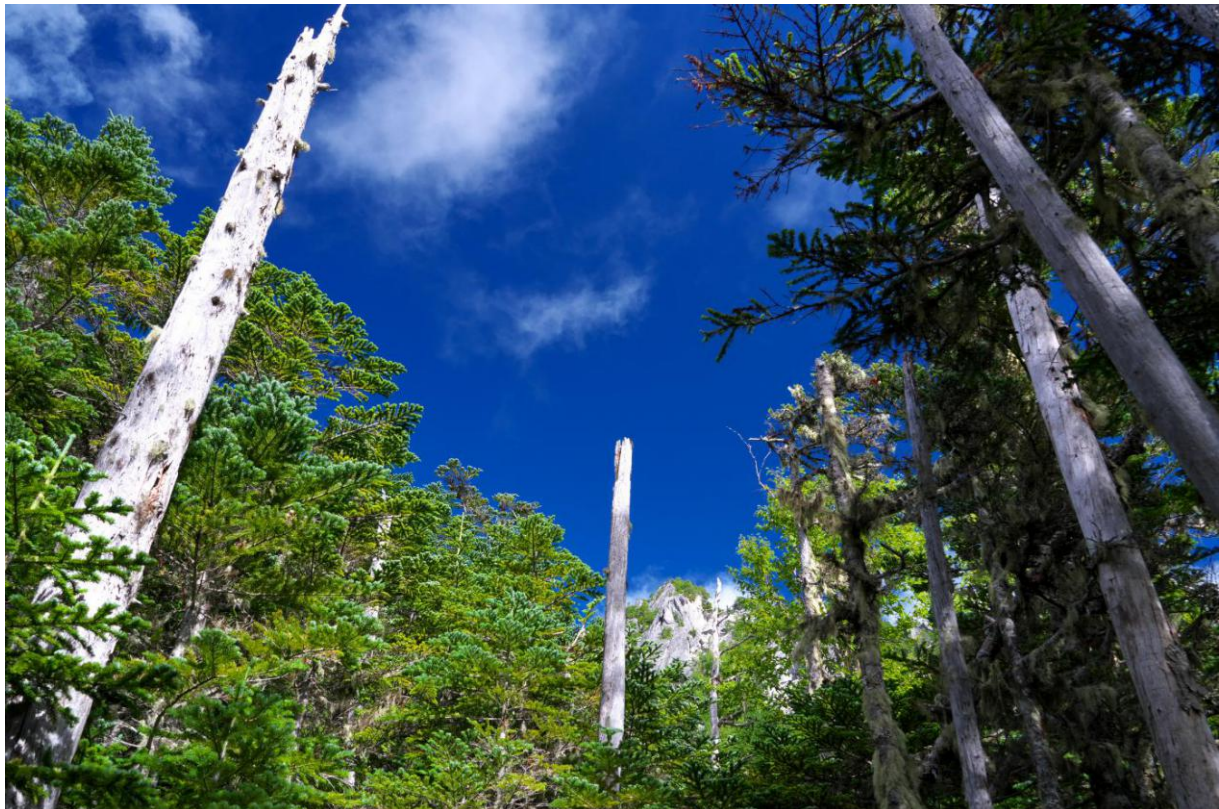


鳳凰小屋



ヤナギラン

木の間から岩峰の山が見えてくる。ハイテンションになってペースがあがる中、岩の影からガサゴソと大きめの音がした。耳を澄ますが音は止まない。草を引っ掻いているように聞こえた、熊か?? 遭遇を覚悟して心を落ち着かせて岩の上側まで出た。目に入ったのはガサガサと荷物を整理していた登山者だった。拍子抜けして思わず笑って挨拶したら、明るい笑顔で挨拶してくれた。危険動物遭遇訓練をしていただき感謝です(笑)



岩峰の山が近づきテンションが上がる

森林限界に出ると地面は花崗岩の白砂に変わり正面にオベリスクが見えた。青空と白砂の素晴らしい景色だ。更に上るとピンクのタカネビランジ、振り返ると白砂の庭園のような景色、左上には観音が岳・・・写真撮りまくりだった。

地藏ヶ岳に到着、お地藏様に手を合わせて、地図の終点となるりオベリスクに向かった。



山頂が見えた！



山頂に到着 地藏岳 2764m



オベリスクに上る



タカネビランジ



ホウオウシャジン

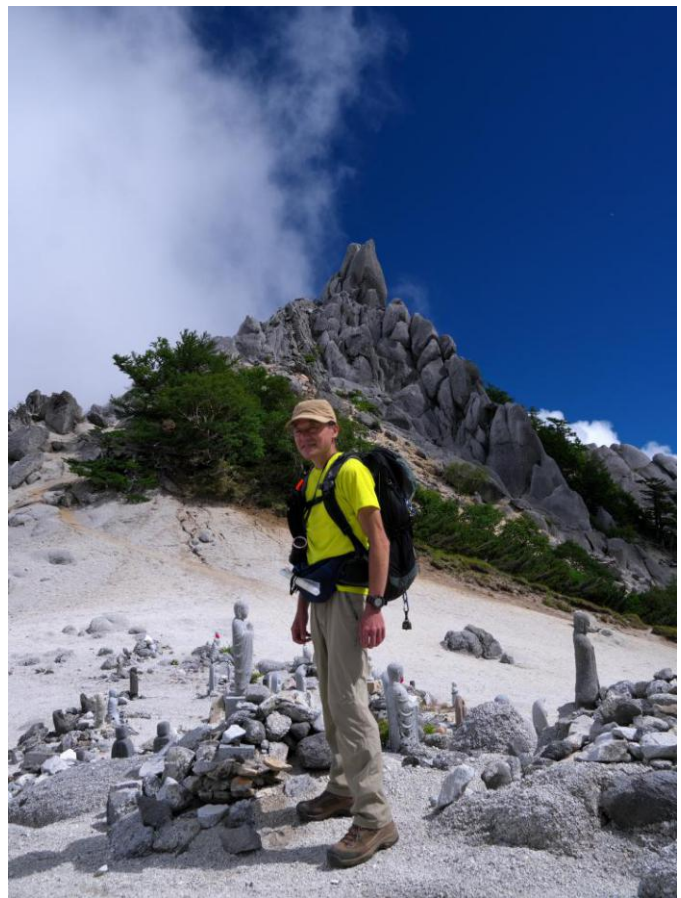
地図に書かれたオベリスクの頂上は下から見えず、更にルート印も無いのでGPSで方向をチェックしながら上った。途中で下りて来た人が石碑があると教えてくれた。「鳳凰山天照皇太御神 鎮座」と書かれた石碑に到着、厳かな雰囲気の手を合わせる。下を見ると雲がすぐ近くまで迫っていた。早出早着で青空の山頂を見れ良かった。



雲が迫ってきた



石碑に手を合わせる(上の岩がオベリスクの天辺)



嬉しいスナップ写真

地藏ヶ岳からは、ガスで白くなりだした稜線を 1km ほど歩いて樹林帯に下りた。歩行中の僅かな時間 雲をまとった雄々しい北岳バットレスが姿を現わした。お気に入りの写真が撮れた。樹林帯への分岐に到着したときは周囲は白い世界になっていた。下山するには丁度良いタイミング、ピストンなので、下山は立ち止まる回数も少なく登山口まで直行した。慌ただしい日帰りではあったが、充実した一日を過ごす事ができた。



赤抜沢ノ頭を過ぎた稜線にて 雲から姿を表した北岳



岩峰を彩る花



花崗岩の白砂

下山中に撮影した写真より



絶景は心眼で 北アルプス展望地



山頂は白い雲の中 八ヶ岳連邦



笹原の緑がきれい 燕頭山山頂(2105m)



今日も無事に下山 登山者駐車場

参考 ルート地図

